

◇甲野善一郎崇城大准教授がモダンアート展で佳作賞 東京都美術館で開かれた「第72回モダンアート展」の写真分野で、崇城大芸術学部デザイン学科の甲野善一郎准教授＝写真＝が、佳作賞とターレンスジャパン賞を受賞した。九州の受賞者は1人。作品タイ



トルは「時間の世界の情景2021 A S O」で、「現在のFLOW（流れ）」をテーマに阿蘇の砂千里を撮影。世の中が変わっても存在し続ける美しさを切り取っている。「コロナ禍で世界が静まり自分も気力を失っていたが、それではいけない、世の中を変えるきっかけにしたいと思い出品した」と甲野さん。これからも公募展への出品を続けたいと話した。



甲野さんの受賞作品「時間の世界の情景2021 A S O」